

ちよいワルオヤジの古代史エッセー
第七回「古代史を楽しんで」一縁は異なるもの

大和川 一路

1. 地図当てゲーム
2. 不思議な M さん
3. 邪馬台国宮崎説
4. ハングルの勉強

1. 地図当てゲーム

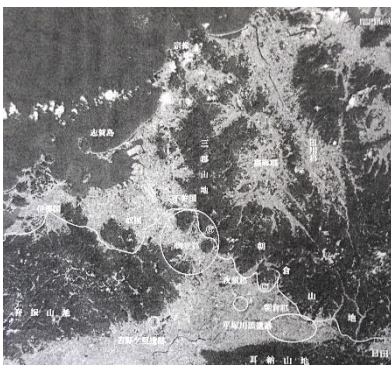
小学校の五、六年生の頃だったか、先生が教室に来るまで「地図当てゲーム」が流行った。ワシントン州と云われニューヨークの方を探したり、九州のナゴヤ城だったり、ひっかけ問題を考える子もいた。地図帳から速く見つけた生徒が誉められて、何度も一番になれば「地理の天才」となる。ただそれだけだが、誇らしい。

模型電車をつくる天才、ピアノ弾きの天才、耳を動かす天才など、天才は沢山いたが本物の天才はスーちゃんだけだとクラスのみんなどは知っていた。

地図に馴染んで世界中の首都は早く覚えたし、南米とアフリカの海岸線が似ていることも気づいていたし、それが大陸移動説の端緒となったことは後年知った。(注釈1)
奴隷海岸やアラル海は半世紀たって地図から消えてしまった。

今、机の前には「福岡市主要部」の大きな地図が貼ってある。
まず全体像を把握しないと落ちつかないのは男子の性だ。
5 cmの紐を高宮駅から垂らしてある。地図上の 1km で散歩の時間の目安に過ぎないが、散歩を習慣にはできなかった。

地図はいろいろな所に誘ってくれるが、この地ではどうも道に迷ってしまう。
理由は簡単、道が 45 度傾いて、くねっているから。



京都や名古屋の直線直角碁盤の目の中で暮らしてきたので福岡の地形に混乱する。日赤通りも那珂川も西鉄も空港もみんな 45 度傾いていて、磁場が狂ってあらぬところに行ってしまう。

決して大げさなことを云っているのではないのです。

歴史講座の先生の魏使が辿ったコースを俯瞰する地図を見ても、福岡市から太宰府、甘木・朝倉は東南の方向。平塚川添遺跡も吉野ヶ里遺跡へも 45 度傾いている。

博多から小倉へも、北九州市から英彦山へもみんな 45 度傾いている。ゆえに初めてナビ

を使うようになった。長年、ナビを使わずに「時代に乗り遅れた人間」と云われ続けてきましたが、ナビに頼れば頼るほど、我が探訪領域を縄張り出来ていない感覚が付きまとう。そう、犬と同じでマーキングしないと心が取まらない。

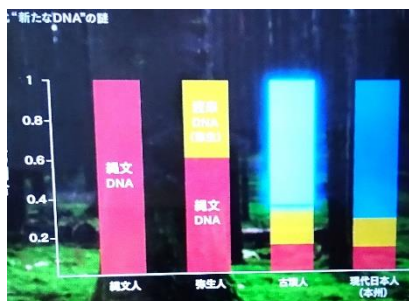
警察の出身だったら交番、車関係ならディーラー、銀行なら支店と自分独自の目印があって「中洲交番の対面の四軒あっちのスナック」とか「ビッグモーターの前の道路の蕎麦屋さん」とかりアルな景色にピンを刺し、自分の地図に書き足す方が性に合う。

むかし京都の下宿のおばあちゃんに「丸竹夷二押御池、姉三角蛸錦」を音階入りで教えてもらい、縦にも横にも道歌があって、例えば二条城から錦市場まで方向と時間が推測できたのです。だけどリアルな世界だ、道歌だ、なんて云っているとデジタル社会から追放されてしまうのでしょうか。

ふと、古代の人は倭国の領域をどう認識していたのだろうか？と頭をよぎった。
「漢委奴国王」(57年)の頃は、韓半島南部と北部九州あたりだろうか？
「親魏倭王」(239年)の頃は、九州全域なのだろうか？
「倭の五王」の頃は河内・大和あたりまで？ 数百年も同じ範囲じゃあるまいし。

そんな時に、「古代 DNA 解析で覆る日本人ルーツの常識」なる番組をたまたま発見して、NHK の画面を慌てて撮った。

左から縄文人・弥生人・古墳人・現代日本人で DNA 解析による混血の割合を示している。



「大陸から半島から大挙日本列島に渡来し、縄文人と交ざりあいつつ弥生人が誕生して日本人の原型となった」と漠とした理解をしていたが、ところが！
人骨の DNA 解析で古墳時代に割合が激変し、
古墳人こそ現代日本人と割合が同じと解説している。
エエッ？弥生人の延長じゃないの？どういう事？



地図の黄色は弥生人のルーツ・青色は古墳人のルーツ
「華南から稲作技術を持った越人が半島南部や日本列島に移住した」=弥生人説①

「鳥居や注連縄の起源は雲南にあり。倭族が稲作をともなって半島南部に渡来した時にその習俗を伝え、それは呉が越に敗れた紀元前 473 年以後の習俗。列島に渡来した倭族の一派は越人の末裔である」=弥生人説②

この①と②が私の“漠とした理解”のベースで、そんな理解はどうも間違っているようだ。科学の最新成果で上書きしていかないと、古代史おじさんが単に言い張る古代おじさんになってしまいそうで怖い。でも、解析した人骨のサンプルは大丈夫なのかな？

混血割合が激変するほど古墳時代(3世紀～7世紀)に大量の渡来があったのか？
どれほどの人と時間で混血割合が半分以上となるのか理系の人に聞かないと分からない。

天智天皇は「百濟遺民男女四百人を近江の神前郡。七百人を蒲生郡に住ませた」
この数に奴婢は入っていたのかな？と思うぐらいで、この人数に引っ張られ自分の量の物差しがいつの間にか短くなって、東アジアの人間大移動を想像しえなかった。

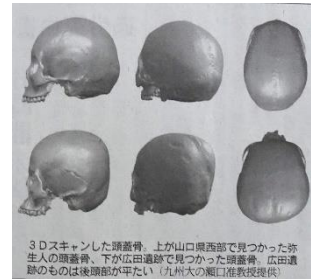
渡来人と倭人は、会話はどうしていたのでしょうか？

聖徳太子は「聖人のような知恵をおもちであった。成人してからは、一度に十人の訴えを聞かれても、誤られなく、先のことまでよく見通された」と書紀に書いてあるが、人数ではなくて、多くの外国語に精通していたという説のほうがしっくりきてしまう。

研究がもっと進んで、倭国への人の移動地図が出来たらとワクワクします。(注釈2)

注釈1 大陸移動説とは3億年前一つの超大陸が存在し、分裂し移動して現在の形となった説。1912年に気象学者ウェゲナーによって提唱され、地球の成り立ちに関する偉業。地球を宇宙に変えれば相対性理論。人類とすれば進化論ですね。

注釈2 2023年10月の新聞記事：種子島の「広田遺跡」(弥生末期～古墳前半)で発掘された人骨を分析。頭蓋骨の後頭部が平たくなるように意図的に変形させていた痕跡が見つかる。これらの人々は、ルーツが不明で農耕をしていた痕跡がなく、日本列島の他の地域と異なる「謎の集団」とされる。



毎日暇なのでジックリ読んでしまう(上は山口県西部の弥生人・下は広田遺跡)
日本の古代社会に頭蓋骨を変形させる風習があったと確認したのは初めて。

「集団のアイデンティティーを示すためだったのかも」

「琉球の交易相手として印象づけていたのかも」とのコメントも掲載。

暇な頭でつらつら考えると、中学生の時はみんな丸坊主で形状が露わになり、あいつもこいつも「直角だ」「扁平頭だ」、さらに残酷なのは「絶壁だ」とクラスで言いあっていた。私は扁平部類だが「赤ん坊の時に寝返りさせなかったから…」と母親が言ったことを覚えている。どの親も戦後復興で忙しいのだ。
集団のアイデンティティー？

琉球とは言葉も違うし、変形頭で印象づける必要があるのか。

中南米の意図的に変形させた頭蓋骨と似ているという事よりも、大学の連携を密にして「次はDNAのゲノム解析でルーツを探って人間大移動を解明したい」とのコメントだったら、拍手喝采するのですが。

それより種子島がその時代に「日本」の領域だったのですか？

2. 不思議な M さん

「誘われたら断らない」どこへでも行く。

鞍手町と宮若市を巡る旅に誘われて、竹原古墳、天照神社、熱田神社、古物神社、古月横穴などを見物してきました。饒速日と物部の里です。

田舎にしては小洒落た店の昼食で M さんと知り合い、少し会話ができるようになった。歩きながら「辻褄が合わないんですよ…」と何度も聞いたが、M さんの立ち位置が分からないまま、歩きながら聞きながら辻褄を考えた。

天照神社は名前からして天照大神と思えるが、天照国照彦天火明櫛玉饒速日尊がご祭神。M さん曰く、「天照大神を男神にしてしまった。それがこの名前ですよ」

「エエッ、ニギハヤヒじゃないんですか？」

「千木を見てください。地面と水平の内削ぎでしょ。伊勢神宮の内宮の千木は内削ぎでしょう。なのにここ、男神なんですよ。おかしいですよ」

「伊勢志摩って、怡土志摩と似てますよね。こっちの人達が東に行ったのですよ」



鞍手町に熱田神社があるとは知らなかった。また、M さん曰く、「熱田神宮から草薙剣が盗まれた話し、新羅に持って帰ろうとして失敗しましたが、おかしいと思いませんか？」

尾張から新羅まで逃げられますかね。鞍手の熱田神社の方が古い新羅へは近いし、この話なんだと思いますよ。辻褄が合わないんですよ。ここの伝承が書紀に書かれて、熱田神宮の話になっちゃった」



“こげつおうけつ・こげつおうけつ”とバスの隣のレディが何回も云うものだから、淋しく欠けた月でも仰ぎ見るのかなと思っていたが、“ふるつきよこあな”と読む古月横穴でした。

6 世紀後半から 7 世紀後半の横穴墓。41 基見つかったそうで、物部一族か渡来人か、眠っているのは誰だろう？

もう立派な墓をつくるのが面倒で、岩盤をくり貫いて簡単に造ったのだろうか。歴女レディのグループはキャツキャ、キャツキャと一つ一つのぞきながら、まるで人生の解放区にいるようだ。

古代史オジサンはいつでもどこでも独りぼっちで、への字の口には近づき難い。(閑話 1)

閑話 1 「ここは会社じゃない。怖い顔はやめよ！」とよく云われたが、58 歳頃から顔面変化、要は崩れが始まった。まず、まぶたが膨らみ二重が消えた。

「我が顔がどうも自分の顔じゃないぞ」と会社のトイレに行く度に鏡を眺めた。

「重力で顔の肉が垂れ下がるのよ。だから女はクリームで上へ上へとマッサージするの。男は見た目が大事よ。お金は使わなければ、入ってこないのよ！」
変な説に戸惑ってしまうが、生き方を変えよということなのだろう。
コーセー使って美顔手入れに時間を割いて誰に会う！
ボスで身を固めてどこへ行く！
物欲ないし、友達は段々逝ってしまうし！
こんな反論をすること自体、すでにしなやかさが欠けている証左なのでしょう。
こうも云われた。
「年をとったら芸能界に詳しくないと、人の輪に入って行けないわよ」
確かにへの字の口に、弘田三枝子さんの人生の軌跡を聞こうとは思わない。

「Mさん。30年前にトヨタ自動車が宮田町に進出しましたが、この辺りですか？」
「合併して宮若市になりました。豊田だからトヨタの国に戻ってきたのですよ」

二か月後、饒速日一族を巡る旅でMさんと再会した。

「ここは小郡」と云われても分からない。福岡はどこにいても小高い山に囲まれている。
「あっちが朝倉ですよ。山で陰になり朝が暗いから昔は朝闇(あさくら)と云われていました。越前朝倉氏の出たところですよ。大巳貴神社のソバに倭の五王を祀る神社があるらしいのですが、秘密だって言われて名前教えてくれないのですよ」

「武内宿禰のお母さん知ってます？」みんなキョトン。
「山下影だって！浮かぶのは山下達郎と竹内まりやだよ。やだっ、グチャグチャね」
「影媛あわれ」なら知ってるわ。山内影って初めてよ。知ってる？」「知らない」
「呼び捨てはいけませんよ。山下影媛様と云わねばなりません」
私たちの知らないことばかり。「影とは御姿のことです」

一つだけMさんに確認しました。

「ひょっとして、九州が倭国の領域と考えてます？」
「はい」と聞いて、五里霧の中にMさんの姿がボンヤリ見えた。

3. 邪馬台国宮崎説

邪馬台国宮崎説の、ある一冊を薦められて読んだ。

インターネットのヤフー地図で全国すべての地名検索をして、レーベンシュタイン距離とその標準化を用い科学的検証をして、邪馬台国の高官の名前が10名も宮崎市と西都市に地名として残っていることを発見し論争に終止符を打つことが出来ました。(注釈3)

邪馬台国への行程は奴国までは定説通りで、不弥国は福津・宗像と比定。
そこから水行 20 日で大分に至り投馬国とし、水行 10 日で上陸したのは佐伯、陸行 1 月
で宮崎市にたどり着き、ここを邪馬台国と特定した。という内容です。

“まえがき“にはこう記されていました。

インターネット技術を利用して、宮崎市が魏志倭人伝に記載されている邪馬台国のすべ
ての条件に合致することが証明できた。記紀は神話ではなく、歴史的事実を反映した歴史
書であることを魏志倭人伝が裏付けている。

“あとがき“にはこう記されていました。

執筆するにあたり、一週間かけて唐津から海岸沿いに宮崎まで車で視察旅行をしました。
1800 年前に魏の一行の旅はそれなりの苦労は伴ったものの、非常に楽しい旅だったの
ではないかと想像しています。宿泊地では毎日大宴会が催され、大満足したと思います。

読み終えて、悲しいかな二つの事柄が浮かんできただけでした。

一つは 30 年前に出会ったある偉い方から聞いたお言葉。

「努力は称賛に値する。されど、結果においてのみ評価する」

もう一つは、藤井聡太さんの王座戦第 4 局 122 手目の 5 五銀。

「相手を引きずり込む“あやかし”のような手」との杉村達也氏のコメント。

AI は人間が間違えないことを前提としているそうですが、人間はどこかで間違えてしま
う。永瀬王座は 123 手目の後、頭を掻きむしり天を仰いだ。

注釈 3 レーベンシュタイン距離とは、二つの単語がどれくらい似ているかを挿入・削
除・置換の編集回数を計測して類似度を確かめることらしい。

邪馬台国の伊支馬（イキマ）と宮崎市の生目（イキメ）はマとメの一置換だか
ら、 $1 \div 3 = 0.33$ となり、0.5 以下ゆえ似ているとして分類。

そういうもんですかね？

吉田拓郎の『旅の宿』をいつの頃からか「額田の君は～ススキのかんざし～」
と口ずさむようになっていた。

きっと額田王に興味を持った頃からだろう。

そのうち「博多の君は素敵なかんざし～」になってしまうかもしれません。

浴衣も額田も博多も、ススキも素敵もみんなレーベンシュタイン距離が 0.33。

こんなのありかな？

4. ハングルの勉強

「古代史を読むのが好きですから、朝鮮語ができれば、どんなにいいかと思って。このルートから入る人も多くて「古代史派」という一派を形成できるくらいだろう」
ある本のこの一節に、そうなんだ、古代史が好きな自分もそうなんだと素直に思った。

福岡に移住してすぐさま歴史講座に申し込み、少しして韓国語講座に通ってみた。
ハングルが少しだけ分かればいい。ところがコロナが拡がりマスクで口の動きが分からない。教室に通うことは数か月で終わってしまいました。

「シジャギ パニダ」(始まりが半分だ)はその時覚えた韓国の諺。

「始めようと意志した時は、既に半分がたは達成したようなものだ。大らかな表現は気持ちを楽しんでくれる」と書いてある。シは始、パは半と大らかに考えておきました。

ある時、歴史講座の友人が「加唐島の民宿の魚料理は日本一だ」と云うものだから、美食家の我々は行かねばならない。けれど、すぐに決まらないのは福岡の人には近すぎて、その気にならないのだろうか。

名古屋で「日間賀島にタコを食べに行こう」と云っても、「エエ、又」みたいな感覚なのだろうか。

ならば作戦を変えて「古代史を学ぶ者が、武寧王が生まれた加唐島に行かねば話しにならないでしょう。私は10年前から行きたかったんですよ」と脅迫に哀願を込めてみた。

美食もさることながら、会社勤めの頃に飛鳥川師匠と武寧王の父の昆支について、飲み会談義で何度も語り合った思い出があります。写真は2012年に漢城百済博物館で撮って、



古代史ノートにとりあえず貼りつけておきました。10年たって開いてみると、武寧王はムリョンワン、蓋鹵王はケロワンとハングルが何となく分かるようになっていました。

百済の王様もその国の発音で言わないと失礼になりますね。韓国が漢字を捨ててしまつて残念なことです。膨大な漢字文献は学者だけのものになってしまうのでしょうか。

稲荷山古墳の鉄剣の「獲加多支鹵大王」は21代雄略天皇(471~479年?)ですか。百済21代蓋鹵王(455~479年)の鹵とか、昆支の支とか、同時代の倭国のワカタケル大王に同じ漢字が当ててあり、でも発音はチョット違うようでもあり、不思議なことです。

戦争記念館にも行って、人間のぶつかり合いのような戦争の絵を見ました。



攻めるは唐軍、迎え撃つのは高句麗の淵蓋蘇文。漢字も併記されているから分かります。日本では見ることのできない絵が沢山あり楽しい。日帝強制動員歴史館は全てハングル表記で、どんな無茶苦茶が書いてあるのか。もっと勉強して読んでみたいが道のりを想うと夢のまた夢です。

この年末年始も有り余る時間があって、『VIVANT』と『チャングムの誓い』を一気見できた。今度はイントネーションをよく聞いて、セリフを真似して声にしてみる。

田主丸の先輩はチャングムを3回も見たそうで、「このドラマで会社組織や人生を学んだよ」と語っていた。「イ・ヨンエは結婚してアメリカで生活してるよ」とも。喜寿を過ぎてほしいものだ。ヨンエは韓国の吉永小百合のような存在なのかもしれません。でも先輩、アメリカに行ったのはヨンエじゃなくて、クミョンを演じたホン・リナですよ。二人とも美人で、間違えちゃって、ヨンエが好きだったことはよ〜く分かりますけどね。

ところが最近、西川峰子が好きだという方が登場し、色香の基準のズレに軽い衝撃を受けました。かたせ梨乃や松坂慶子が美の本流、正統派と思うのですが。

色系でもふっくら系でも「コンシナ カミダ」(どっちもどっち)とも思うのですが、ミジンコのような耽美論争は歴史論争とは違ってケンカにはなりません。推しの違いは、“変な写真集”か“愛の水中花”か、心を奪われたタイミングが違うだけなのでしょう。

『VIVANT』とは別班と分かり、モンゴルロケでやっと韓国ドラマ並みのスケールになりました。でもヴィバンの世界観に合わぬ二宮和也の存在感のなさは残念でした。年末のテレビ欄『必殺仕事人—50周年最新作 東山紀之』を見つけて、アイゴー。ああ、こういう事で被害者救済にすぐさま専念できなかったのですね。

「ちょっとは芸能の話ができるようになったわね」

いえいえ、韓国の音楽は不得手です。

「東方神起」は名前が性に合わなかったし、「防弾少年団」には拒否感さえ覚えました。10年後、BTSとして世界を席卷しようとは思ってもよらなかった。

ちんまりしたアイドルばかりで、ジャニーズ帝国が日本の音楽も映画もドラマもみんなちんまりさせてしまった。世界に向けたエンタメにしなくちゃダメですよ。

これからのJ-POPはYOASOBIに期待しましょう。

「知ってんの？ あなたが囁んだ小指が痛い〜♪しか知らないくせに！」

天神界限も韓国人のカップルで一杯です。「スラムダンク」が大好きでこんなに来るのだ

ろうか。「照和」の横の「ひょうたん寿司」はいつも長い行列で、SNS の威力を感じる。日本の若者も K-POP が大好きでソウルになだれ込んでいるらしい。

日本での韓国語人気もうなぎ上りで中心は 10 代～20 代と聞く。古代史一派として韓国語を学び始めたが、どうも半世紀過ぎて学びの主役が若者世代に替わっているようだ。若者は互いの文化が好きで往来している。

福岡では「博多まち歩き」とか「天神まち歩き」なる無料ツアーが毎日やっている。アクロスの公園で日向ぼっこをしている時に、同じ歴史講座に通うレディーに、「天神まち歩きに行ってきたの。これ食べてから先生の講座よ。あなたも行ってらっしゃい」とそのツアーを教えてもらった。への字の口をやめると、話しかけてもらえる。

しばらくの雑談。

「韓国ドラマ見るの!? あんな惚れたハレタは嫌よ。意地悪だし。見ないわよ」
なんか矛盾しているような言い方ですけど…。



暖かくなったらまち歩きに参加して、もし韓国の人が出たら「May I help you?」を韓国語で話しかけ、「アイドル」を踊る「アヴァンギャルディはどう?」と切り出したら、きっと韓国の若い子たちは食いついてくれる。

明洞でこういう看板通りを歩いたら、さり気なく「おっ、キンパの店があるから行ってみようか。食べながら、明日の予定でも立てようか」なんて、志の着地点はそんなところでもいいのです。

さあ今月は、美しい人ヨンエ様の『師任堂』(サイムダン)を観てみよう。
もちろん韓国語の勉強で、です。

大和川一路・プロフィール

本名・内藤一郎（ないとう・いちろう）

名古屋市熱田区生まれ 刈谷高校を経て立命館大学卒。

民間企業で45年勤務。

上司から古代史の面白さを教わり、奈良の山河を駆け巡る。

「大和川一路」は上司から贈られたペンネーム。

退任後、憧れの福岡に移住。

季刊古代史ネットで「ちょいワルオヤジの古代史エッセー」を連載。

自称、古代史の旅人、あるいは古代日韓関係史研究者

現在、河村哲夫代表が主宰するふくおかアジア文化塾・理事（広報企画担当）



季刊「古代史ネット」掲載状況

掲載号	掲載年月	ちょいワルオヤジの 古代史エッセー		巻頭言
第8号	2022年9月	1	「あっ、そうだったのか！」	
第9号	2022年12月	2	「訳の解らぬことばかり」	
第10号	2023年3月	3	「まるで目くらまし」	「若い人たちへの雑感」
第11号	2023年6月	4	「違う景色」	
第12号	2023年9月	5	「ミステリー？」	
第13号	2023年12月	6	「誰の上にも雨は降る」	「それぞれの尾張と伊勢」
第14号	2024年3月	7	「縁は異なるもの」	「不適切にもほどがある！」